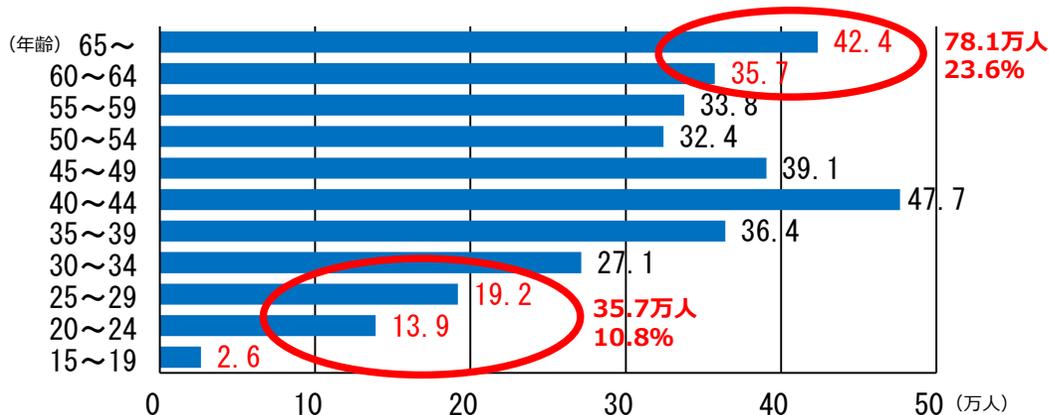
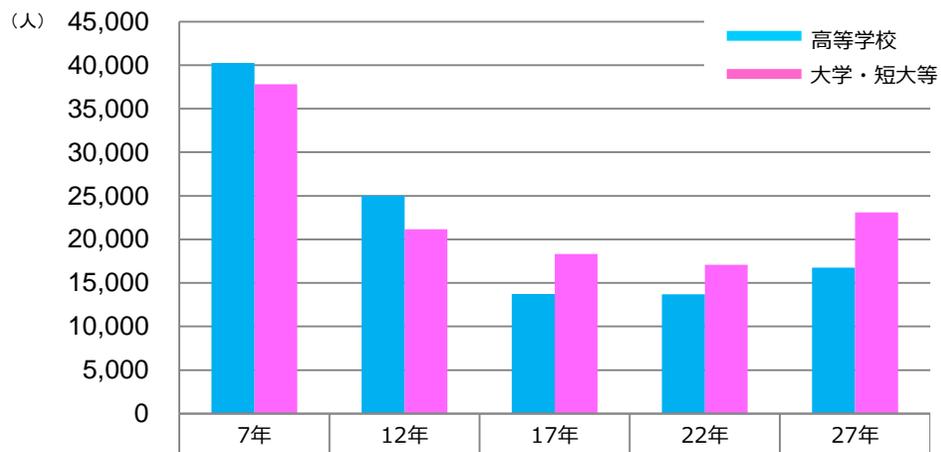


- 60歳以上の技能労働者は全体の約4分の1を占めており、10年後にはその大半が引退することが見込まれる
- これからの建設業を支える29歳以下の割合は全体の約10%程度。若年入職者の確保・育成が喫緊の課題



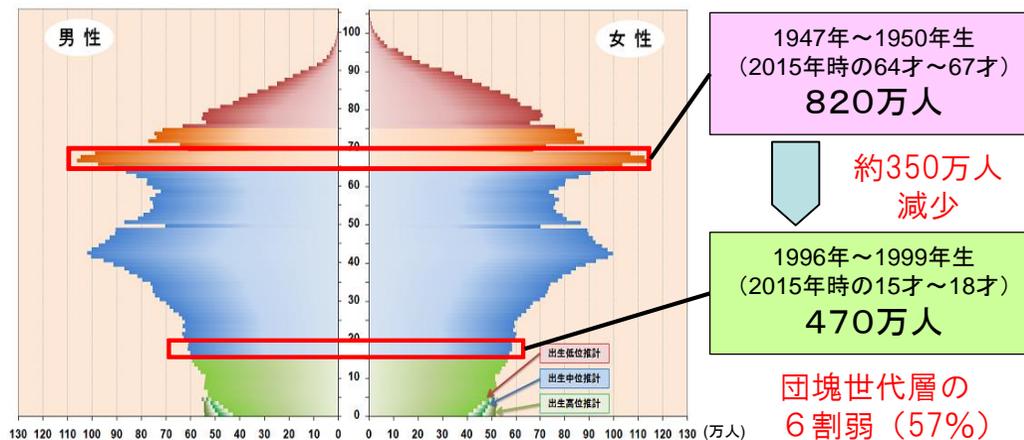
年齢階層別の建設技能労働者数 出所：総務省「労働力調査」

- 建設業への入職者数は近年増加傾向にあるものの、H7年のピーク時から遠い水準



建設業への入職状況 出所：学校基本調査（文部科学省）をもとに国土交通省で作成

- 今後の日本社会を支える若手（15才～18才）層は、団塊世代層（64才～67才）の6割弱



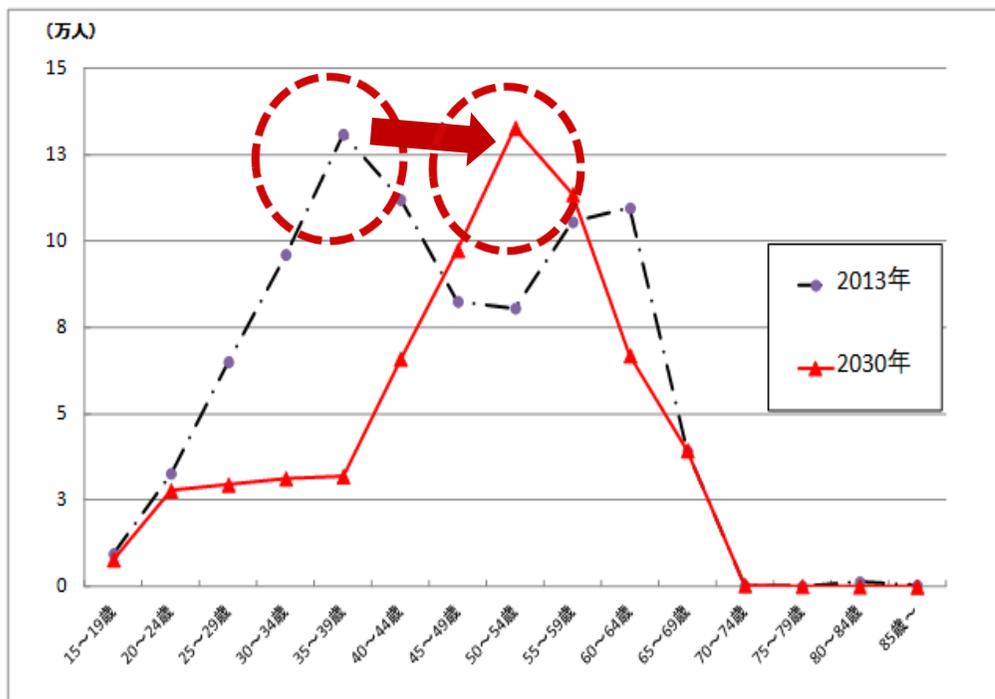
人口減少・高齢化・世帯構成の変化 出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月）」

建設技能者を取り巻く環境②

将来の建設技能労働者不足は地方の方がより深刻

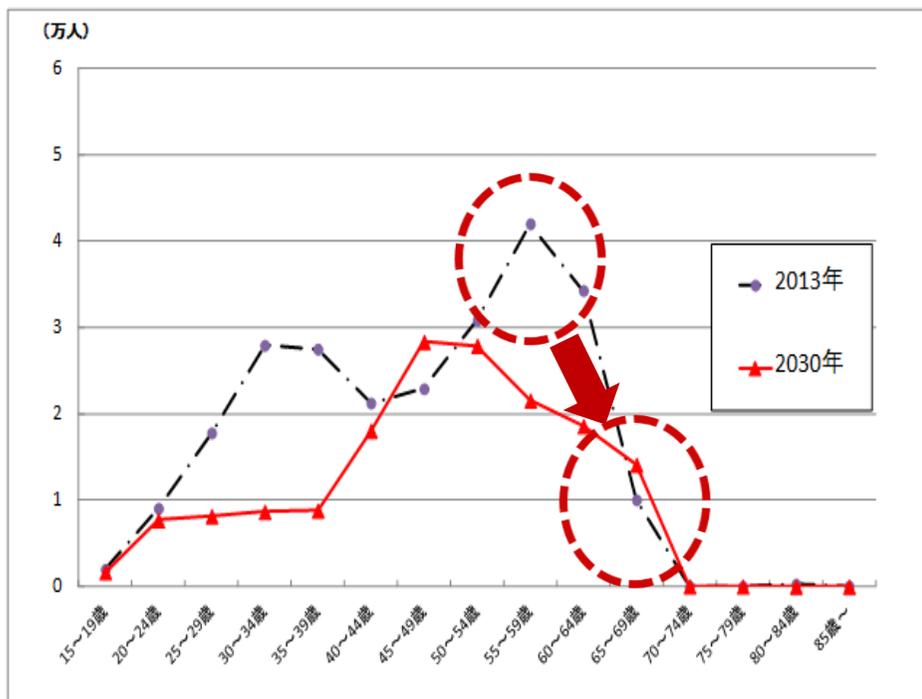
関東ブロック

中堅層（団塊ジュニア世代）の労働者が大都市圏に集中



東北ブロック

団塊世代の労働者が多い → リタイア後、労働者数が大きく減少

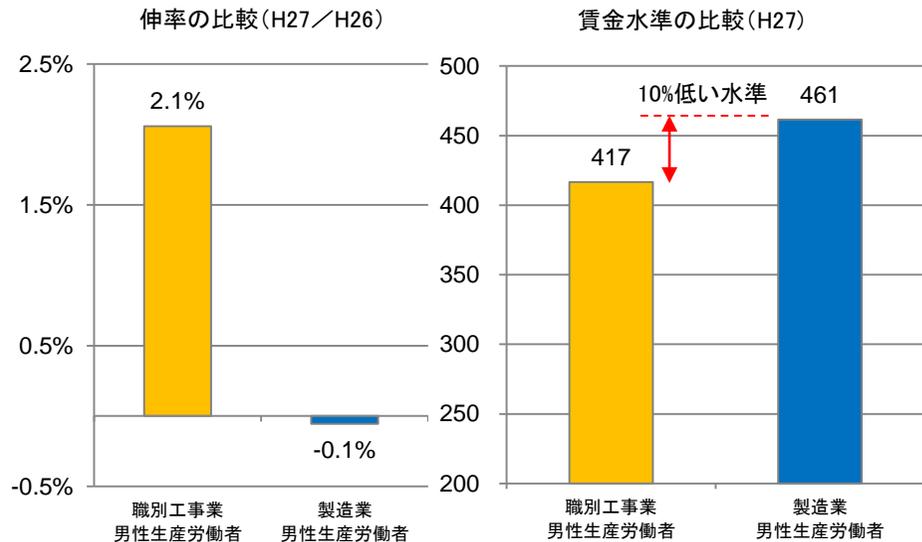


出所：H27.7.28 労働政策審議会 建設専門委員会 資料

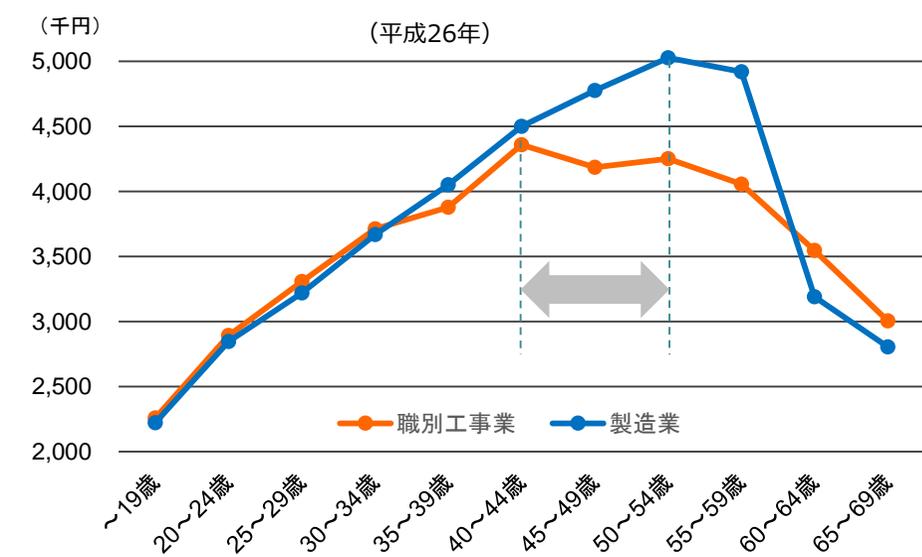
建設技能者を取り巻く環境③

- 建設業における年間賃金の伸び率は他の製造業と比べて高い伸び率
- 建設業における賃金水準は近年上昇傾向にあるが、製造業に比べて、10%程度低い水準となっている。

- 製造業の賃金のピークは50歳前後であることに対し、建設業の賃金ピークは40歳前後。
- 賃金カーブのピーク時期が製造業よりも早く到来する傾向があり、現場の管理、後進の指導等のスキルが評価されていない可能性。



賃金水準の比較 出所：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」



年齢改別の賃金水準 出所：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」